

## 世界の人びとのための J I C A 基金・業務完了報告書

1. 業務の概要：	
(1) 事業名	ミャンマー縫製教育支援事業
(2) 実施団体名	特定非営利活動法人 アジアクラフトリンク
(3) 実施期間	2015年11月～2016年7月
(4) 実施国	ミャンマー
(5) 活動地域	ミャンマー
(6) 活動概要	<p>①活動の背景：</p> <p>2010年及び2011年において、下記の支援により現地の織物学校で縫製教育が定着した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>縫製教育を開始するために指導者養成講座を開催</li> <li>その為のミシン等の機械を現地の使いやすい機種で寄贈</li> <li>指導者教育を支援する為に日本の経験を生かした知識と経験を提供し交流</li> <li>指導者を日本へ招聘し日本の繊維産業の視察・体験及び縫製教育の交流</li> </ol> <p>これらの支援は一方的な支援でなく、現地側でできる事は担当した。例えば教室建物は学校内教室を改造して使用したり、当初指導者教育のために15名の教員を選抜し、1ヶ月20日、合宿して集中講義を実施するなど、ミャンマー側も出来る努力をして共同で事業を立ち上げた。その結果、2校で教育が定着し、継続できた。</p> <p>今回ミャンマーにおいて、織物学校での縫製講座を全国13分校へ広めるために、100台ほどのミシンが必要となった。(以前、当方が20台寄贈しているので現在約80台必要)</p> <p>2010年、2011年に当方で寄贈したミシンレベルが現地の状況に適していて使い易く、停電時も利用可能で、故障時も現地で修理可能である。また現地で一般市場から購入できることから、価格的にもリーズナブルであり、予算の上でも適している。国産の新品では停電時、故障時は使用が難しく、かつ予算上でも実現が難しい。</p> <p>②活動の目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>縫製教育を現地の手によって継続し広める。</li> <li>現地の若い人々の職業選択の機会増につなげる。</li> <li>最終目標は現地地域産業の自立と発展。</li> </ol>

## 2. 業務実施結果：

### (1) 実施した内容

【実施内容①】足踏み式ミシン62台をサウンダー織物学校本校及び分校10か所へ設置

【実施内容②】足踏み式ミシン4台・ロックミシン2台をネピドの組合省・小規模工業庁の訓練所に設置

【実施内容③】ネピドの組合省・小規模工業庁の訓練所において寄贈式及び稼働状況の確認を実施

### (2) 実施成果：

#### 実施内容①

サウンダー織物学校及び10箇所の分校への足踏みミシン設置により、縫製養育が開始された。縫製講座は本校及び分校で実施され、受講者は寄贈されたミシンを使いながら実習を行った。本校や分校の寄贈先では、衣類のみではなく、小物も制作したりして新たな分野への取り組みも始まっている。

#### 実施内容②

ネピドの組合省・小規模工業省の訓練所は全国の教員のための訓練センターとして運営されている。設置されたミシンやロックミシンを活用することにより、今後の教員の資質向上が期待される。

#### 実施内容③

2016年1月にネピドで寄贈式を行った。寄贈ミシンの稼働状況を確認し、全体の計画について小規模工業庁・長官と打合せを行った。

#### 全体成果

今回の縫製教育支援により、縫製教育が開始された。本校や分校・訓練センターで受講した教員の資質向上が図られたことにより、今後は生徒や地域の工房への技術指導も行われる予定である。織物だけでなく、ミシンを使った縫製を指導していくことで、今後、現地の若い人たちの職業選択の幅を広げることにも可能である。また職業選択の幅を広げること、将来的には収入増につなげていくこともできると期待している。

### (3) 得られた教訓など：

- ・縫製教育は2010年にこちらから提案して開始したが、今回はミャンマーからの要望で開始した。現地のニーズが高まっていることで、現地との共同事業が確実に実行することができた。
- ・多数のミシン寄贈が現地の協力によりスムーズに進んだ。現地が必要としていることをタイムリーに把握し事業を実施することが大切だとあらためて感じさせられた。今後の共同事業を進める際の糧としたい。

### (4) 今後の活動・フォローアップの方針：

- 1 ミャンマーにおいて縫製教育は地域産業発展のための大切な位置づけと考える。
- 2 縫製教育レベルを縫製講座の充実など実情に合わせて徐々に高めていく。
- 3 衣類のデザインや縫製工業に合わせた技術レベルの教育を視野に入れる
- 4 縫製教育を実用的なレベルまで向上させ、最終的には、現地の人々に事業をハンドオーバーできるようにしていきたい

## 3. その他(エピソード・感想・写真など)

### 【ミシン寄贈記録】

当NPO法人アジアクラフトリンクは2010年に20台、2011年に10台ミシンを寄贈しており、今回は「全国の織物学校で縫製教育を取り組もう」との希望で68台（総予算100万円）を、ミャンマー政府の織物学校を監督しているセクションのSSIDへ寄贈し、そこより各地へ配送しました。

今回は内、ネピドの縫製教育のための訓練所へ寄贈された6台とマンダレーのアマラプラー校へ寄贈された3台のミシンを視察しました。



ネピド、SSID 設備の訓練所にて  
SSID 長官（写真右端）と斎藤（黒ブレザー）



設置された6台の寄贈ミシン



マンダレー・アマナプラー校では 2010 年より縫製教育が開始されており、今回はこの設備に 3 台のミシンが寄贈、設置されました



衣類だけではなく、小物のポシェットも縫えるようになりました。



寄贈したミシンに JICA 名と当方の名前 ACL、そして日章旗の 3 点併記の名盤を添付しました。